



樋脇
樋脇高校野球部
最後の夏が終わる

来年3月に閉校する樋脇高校の野球部は7月1日(火)、夏の甲子園を目指すこの大会の1回戦に臨み、全力で戦い抜きました。敗退はしましたが、田島充也主将は「最後の試合にみんなと出場できて良かった」とさわやかな笑顔で話してくれました。



下甌
交通安全に貢献
長浜子ども会に感謝状

7月4日(金)、長浜子ども会が、地区内のロードミラーの清掃や交通安全呼び掛け運動を始めて7年目を迎えました。長年にわたり、交通安全運動を積極的に推進した功績が認められ、薩摩川内警察署長と甌島地区交通安全協会長から感謝状が贈られました。



川内
地域住民の暮らしや
福祉の向上のために

平成20年度の薩摩川内市民生委員・児童委員協議会連合会総会が5月に行われました(写真)。委員の皆さんは、担当する地域住民の生活相談や福祉サービスの情報提供、関係機関との連絡調整など、昼夜を問わず活動しています。



川内
川内川左岸で初の
竪穴式石室を発見

6月27日(金)、天辰町の区画整理事業現場から古墳の竪穴式石室が発見されました。大きさは、東西に約2.4m、南北に約1.3m、高さ約1.5mで、港町にある船間島古墳の石室より大きいものです。今後、専門家の指導を受け、形態などを調べます。



上甌
今年も甘酸っぱく
おいしく仕上がりました

7月19日(土)、浦底農園でパッションフルーツのはさみ入れ式と農園祭が行われました。試食・特価販売コーナーでは、買い物客などで大変にぎわっていました。代表の山口高生さんは「冬場の害虫駆除も十分でき、よく出来た」と話していました。



東郷
きれいなまちを目指して
「ごみ拾い隊」が行く!

7月18日(金)、本年1月から毎日欠かさず、道端のごみを拾いながら登校している鳥丸小学校児童10人で結成している「ごみ拾い隊」が薩摩川内警察署長から表彰されました。「ごみが少なくなり、捨てる人も少なくなればなあ」と願いを語ってくれました。



祁答院
色鮮やかな
「ほおずき」はいかが

7月19日(土)・20日(日)、地域特産品直売所「祁答院ロード51」でほおずき市が開催されました。地元の農家が大切に育てたほおずきは、だいたい色が鮮やかで形も良く、市内外から大勢の方が買い求め、2日間で900束が販売されました。



鹿島
新鮮ピチピチ!
甌の養殖ブリ出荷

7月17日(木)、蘭牟田漁港小牟田地区で、長島町の養殖業者から委託を受け、地元作業員3人が丹精込めて育てた1本5kgもあるブリ、1,000本を、いけすから水揚げし、選別、活け締めした後、運搬船で長島町へと出荷しました。



入来
命のぬくもりを
肌で感じました

7月15日(火)、入来小学校児童、入来幼稚園児たちに川薩保健所による動物愛護教室が行われました。犬の特徴や正しい接し方についての説明、犬と触れ合う活動、実際に犬の心音を聞く体験などを通して、命を肌で感じる良い機会になりました。



樋脇
手作りいかだで
涼しく川内川下り

7月20日(日)、栗野小学校の6家族18人と倉野小学校児童や地元住民ら約50人が参加し、3床の手作りいかだで1時間ほどかけて、約4kmの川内川下りを楽しみました。その後、川内川の土手でバーベキューを行い、思い出に残る一日を過ごしました。



里
どんな波も
力強く乗り越えて

7月11日(金)、西の浜海岸で、里中学校の遠泳大会が開催されました。波や風で前へ思い通りに進まない中、陸地や伴走船からの声援を受けながら、約2kmを全員が泳ぎ切りました。ゴールした生徒たちは、達成感から笑顔がこぼれていました。



市内各地から
まじりの話題
はかない命だからこそ
夏の真っ青な空に
ひととき美しく咲くハマボウ
(久見崎町)